

12	薬の内服	0.00	**
13	金銭の管理	0.00	**
14	視力	0.00	**
15	聴力	0.00	**
16	毎日の日課を理解	0.00	**
17	短期記憶	0.00	**
18	今の季節を理解	0.00	**
19	同じ話をする	0.02	*
20	収集癖	0.00	**
21	ひどい物忘れ	0.00	**
22	透析	0.00	**
23	酸素療法	0.04	*
24	浴槽の出入り	0.00	**
25	居室の掃除	0.00	**

\*P<.05 \*\*P<.01

表 193 初回から4回目に改善傾向が示された基本情報

1	拘縮(その他)	0.00	**
2	両足での立位	0.00	**
3	移乗	0.00	**
4	じょくそう	0.01	*
5	食事摂取	0.00	**
6	口腔清潔	0.00	**
7	洗顔	0.00	**
8	整髪	0.00	**
9	上衣の着脱	0.00	**
10	ズボン等の着脱	0.00	**
11	幻視幻聴	0.00	**
12	昼夜逆転	0.00	**
13	常時の徘徊	0.03	*
14	火の不始末	0.02	*
15	不潔行為	0.00	**
16	点滴の管理	0.00	**
17	中心静脈栄養	0.02	*
18	気管切開の処置	0.04	*
19	じょくそうの処置	0.00	**
20	カテーテル	0.00	**
21	両足での座位	0.00	**
22	片手胸元持ち上げ	0.01	*
23	便意	0.00	**
24	排尿後の後始末	0.00	**
25	排便後の後始末	0.00	**
26	ボタンのかけはずし	0.00	**
27	靴下の着脱	0.00	**
28	周囲への無関心	0.00	**

## 第10章 介護サービス利用単位の経年的変化

### 1. 認定時別の介護サービス単位（平均値）の変動

なお、サービスの種別については、以下の21種類別に集計を行った。

表 194 短縮名称一覧

分析番号	分析用サービス種類	短縮名称
01	訪問介護（身体介護）	身体
02	訪問介護（身体介護と家事援助）	身家
03	訪問介護（家事援助）	家事
04	訪問入浴	入浴
05	訪問看護	看護
06	訪問リハビリテーション	訪リ
07	通所介護	通介
08	通所リハビリテーション	通り
09	福祉用具貸与（車いす関連）	いす
10	福祉用具貸与（特殊寝台関連）	寝台
11	福祉用具貸与（その他）	他貸
12	短期入所生活介護（介護老人福祉施設）	短福
13	短期入所生活介護（介護老人保健施設）	短保
14	短期入所生活介護（介護療養型医療施設）	短医
15	居宅療養管理指導（医師・歯科医師）	指医
16	居宅療養管理指導（医師・歯科医師以外）	指他
17	認知症対応型共同生活介護	認知
18	特定施設入所者生活介護	特定
19	介護老人福祉施設	福施
20	介護老人保健施設	保施
21	介護療養型医療施設	医施

### (1) 全体における介護サービス利用単位の経年的変化

介護サービス利用単位の経年的変化について、対象者全体と予防有用型の各認定時の1人当たりの平均値を比較した。どの認定時においても療養施設が高かった。上位は、施設系サービスであり、平均が20万単位を超えていた。

サービス利用料は多い順に、療養施設、保健施設、福祉施設、認知症対応、特定施設、短期生活、短期医療、短期保健と施設系が続き、次いで、通所リハ、通所介護と通所系のサービスへと続き、訪問介護(身体・家事)、訪問入浴、訪問介護(身体)、訪問看護、訪問リハ、訪問介護(家事)と訪問系にサービスへと続いていた。この次として、用具貸与や療養管理が続くが、用具では、特殊寝台が多く、ついで車いすとなっていた。この傾向は、初回から4回までほとんど変わっていなかった。

平均利用単位は、8773.0で、初回の利用料の平均単位は、7999.2、2回目は、8609.1、3回目は、8956.1、4回目は9527.6と認定回数が増えるにしたがって増加していた。

一方、予防有用型も全体と同様に、施設系の療養施設が最も多く、次いで保健施設、福祉施設、認知症対応、特定施設と続くが、全体よりも短期医療の利用単位が短期生活よりも多く、順番としては異なっていた。次いで短期保健が高く、通所リハの次は、訪問入浴となっていた。全体では、訪問入浴の利用は少なかったが、予防有用型では多く示された。次に多かったのは、通所介護、訪問介護(身体・家事)、訪問看護と示され、予防有用型においては、訪問介護よりも訪問看護のほうが多かった。次いで訪問介護(身体)、訪問リハ、訪問介護(家事)、用具貸与(特殊寝台)、用具貸与(車いす)、療養管理(その他)、療養管理(医師・歯科医師)、用具貸与(その他)となっていた。

このように予防有用型では、短期医療や、訪問入浴や訪問看護の利用単位が多く、全体の利用の順位と異なっていた。初回の利用料の平均単位は、7300.5、2回目は、8148.5、3回目は、8374.3、4回目は8537.2と増加し、4回の平均は、8090.1単位と全体よりも低い値であった。

表 195 全体における介護サービス利用単位の経年的変化（平均値降順）

サービス	初回	2回目	3回目	4回目	平均
療養施設	31048.8	32943.2	32603.7	34659.6	32813.8
保健施設	23621.0	26398.7	26773.8	28135.8	26232.3
福祉施設	24366.6	25257.3	25573.4	26259.1	25364.1
認知症対応	21700.2	23085.1	23617.4	24353.4	23189.0
特定施設	15119.0	15424.3	15900.6	16896.5	15835.1
短期生活	7576.9	7744.1	8829.5	9972.7	8530.8
短期医療	6267.2	6827.0	9054.3	11071.8	8305.1
短期保健	6463.9	6467.4	8148.4	8888.0	7491.9
通所リハ	5239.3	6283.7	6508.1	6907.2	6234.6
通所介護	3855.2	4833.3	5338.5	5826.0	4963.3
訪問介護(身体・家事)	3911.0	4637.1	4813.2	5355.8	4679.3
訪問入浴	3971.1	4856.5	4726.8	4957.6	4628.0
訪問介護(身体)	3384.3	3657.7	3738.9	4033.9	3703.7
訪問看護	3482.1	3801.3	3650.7	3785.3	3679.9
訪問リハ	1867.1	2058.7	2164.0	2107.4	2049.3
訪問介護(家事)	1675.3	1900.7	2010.6	2165.0	1937.9
用具貸与(特殊寝台)	1408.1	1451.6	1438.9	1445.9	1436.1
療養管理(その他)	964.1	988.4	1029.5	1030.5	1003.1
用具貸与(車いす)	857.0	917.2	920.6	931.7	906.6
療養管理(医師・歯科医師)	746.9	757.8	749.0	766.6	755.1
用具貸与(その他)	458.8	499.2	487.6	529.0	493.7
認定時の平均利用	7999.2	8609.1	8956.1	9527.6	8773.0

表 196 予防有用型における介護サービス利用単位の経年的変化

サービス	初回	2回目	3回目	4回目	平均
療養施設	29223.4	32843.1	30746.4	31676.2	31122.3
保健施設	22702.9	25029.5	24843	25774.4	24587.5
福祉施設	23852.7	24709.1	24076.9	24695.4	24333.5
認知症対応	19056.8	21575.3	22825.1	23073.7	21632.7
特定施設	12479.6	14678.3	14517.6	15366.2	14260.4
短期医療	3477.3	5913.4	9964.6	8933.5	7072.2
短期生活	7293	6420.7	6950.3	7150	6953.5
短期保健	5908.4	6295.8	7648.6	7239.8	6773.2
通所リハ	4712	5493.8	5666.4	5875.4	5436.9
訪問入浴	3663.7	4918	4871.4	4867.1	4580.1
通所介護	3190.6	3850	4256.3	4624.3	3980.3
訪問介護(身体・家事)	3186.1	3996.6	3993	4283.6	3864.8
訪問看護	3447	3772.2	3523.3	3589.2	3582.9
訪問介護(身体)	2953.7	2982.1	2901.1	3067.4	2976.1
訪問リハ	2033.3	2076.5	2383.3	2176.1	2167.3
訪問介護(家事)	1564.1	1754.6	1888.9	2037.7	1811.3
用具貸与(特殊寝台)	1409.2	1446.1	1434.9	1437	1431.8
用具貸与(車いす)	1050.2	1137.8	1146.6	1192.7	1131.8
療養管理(その他)	960.5	998.3	1037.9	1021.1	1004.5
療養管理(医師・歯科医師)	739.5	761.3	757.4	757	753.8
用具貸与(その他)	407.2	467	427.4	442.4	436.0
認定時の平均利用	7300.5	8148.5	8374.3	8537.2	8090.1

## 2. 認定時別の各介護サービス単位（平均値）の変動

### (1) 訪問介護（身体・家事）の推移

全体の傾向としては、訪問介護（身体・家事）の1人当たりの平均値は初回で3911.0単位、2回目で4637.1単位、3回目で4813.2単位、4回目で5355.8単位となっていた。

一方、初回認定から4回目の認定までの結果がすべて予防有用型に該当した集団では、訪問介護（身体・家事）の1人当たりの平均値は初回で3186.1単位、2回目で3996.6単位、3回目で3993.0単位、4回目で4283.6単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値は低かった。

また、全体の傾向と同様に予防有用型に関しても、平均値は初回から4回目にかけてその値は増加していた。ただし、予防有用型においては、初回から2回目には増加するが、2回目から3回目の増加はほとんどなかった。

#### (2) 訪問介護（身体）の変動

全体の傾向としては、訪問介護（身体）の1人当たりの平均値は初回で3384.3単位、2回目で3657.7単位、3回目で3738.9単位、4回目で4033.9単位となっていた。

一方、初回認定から4回目の認定までの結果がすべて予防有用型に該当した集団では、訪問介護（身体）の1人当たりの平均値は初回で2953.7単位、2回目で2982.1単位、3回目で2901.1単位、4回目で3067.4単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値は低かった。

また、全体の傾向と比べ、予防有用型は、平均値は初回から4回目にかけて、ほとんど変化していなかった。

#### (3) 訪問介護（家事）

全体の傾向としては、訪問介護（家事）の1人当たりの平均値は初回で1675.3単位、2回目で1900.7単位、3回目で2010.6単位、4回目で2165.0単位となっていた。

一方、初回認定から4回目の認定までの結果がすべて予防有用型に該当した集団では、訪問介護（家事）の1人当たりの平均値は初回で1564.1単位、2回目で1754.6単位、3回目で1888.9単位、4回目で2037.7単位となっていた。すべての認定時において全体に比べて予防有用型の平均値は低かった。

また、全体の傾向と同様に予防有用型の平均値は、初回から4回目にかけて利用料は、漸次、増加していた。

#### (4) 訪問入浴

全体の傾向としては、訪問入浴の1人当たりの平均値は初回で3971.1単位、2回目で4856.5単位、3回目で4726.8単位、4回目で4957.6単位となっていた。

一方、初回認定から4回目の認定までの結果がすべて予防有用型に該当した集団では、訪問入浴の1人当たりの平均値は初回で3663.7単位、2回目で4918.0単位、3回目で4871.4単位、4回目で4867.1単位となっていた。

2回目と3回目は予防有用型の平均値は全体よりも高かったが、初回と4回は、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。

#### (5) 訪問看護

全体の傾向としては、訪問看護の1人当たりの平均値は初回で3482.1単位、2回目で3801.3単位、3回目で3650.7単位、4回目で3785.3単位となっていた。

一方、初回認定から4回目の認定までの結果がすべて予防有用型に該当した集団では、

訪問看護の 1 人当たりの平均値は初回で 3447.0 単位、2 回目で 3772.2 単位、3 回目で 3523.3 単位、4 回目で 3589.2 単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値は低かった。また、全体の傾向と同様に予防有用型に関しても、平均値は 2 回目に最も高い値を示していた。

#### (6) 訪問リハ

全体の傾向としては、訪問リハの 1 人当たりの平均値は初回で 1867.1 単位、2 回目で 2058.7 単位、3 回目で 2164.0 単位、4 回目で 2107.4 単位となっていた。

予防有用型に該当した集団では、訪問リハの 1 人当たりの平均値は初回で 2033.3 単位、2 回目で 2076.5 単位、3 回目で 2383.3 単位、4 回目で 2176.1 単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値は高かった。また、全体の傾向と同様に予防有用型の平均値は 3 回目に最も高い値を示していた。

#### (7) 通所介護

全体の傾向としては、通所介護の 1 人当たりの平均値は初回で 3855.2 単位、2 回目で 4833.3 単位、3 回目で 5338.5 単位、4 回目で 5826.0 単位となっていた。

予防有用型では、通所介護の 1 人当たりの平均値は初回で 3190.6 単位、2 回目で 3850.0 単位、3 回目で 4256.3 単位、4 回目で 4624.3 単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値は低かった。全体の傾向と同様に予防有用型に関しても、平均値は初回から 4 回目に漸次、増加していた。

#### (8) 通所リハ

全体の傾向としては、通所リハの 1 人当たりの平均値は初回で 5239.3 単位、2 回目で 6283.7 単位、3 回目で 6508.1 単位、4 回目で 6907.2 単位となっていた。

予防有用型に該当した集団では、通所リハの 1 人当たりの平均値は初回で 4712.0 単位、2 回目で 5493.8 単位、3 回目で 5666.4 単位、4 回目で 5875.4 単位となっていた。通所リハも通所介護と同様に、どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値は低かった。また、全体の傾向と同様に予防有用型に関しても、平均値は初回から 4 回目にかけて、回数が増加するにしたがって漸次、増加していた。

#### (9) 用具貸与(車いす)

全体の傾向としては、用具貸与(車いす)の 1 人当たりの平均値は初回で 857.0 単位、2 回目で 917.2 単位、3 回目で 920.6 単位、4 回目で 931.7 単位となっていた。

予防有用型に該当した集団では、用具貸与(車いす)の 1 人当たりの平均値は初回で 1050.2 単位、2 回目で 1137.8 単位、3 回目で 1146.6 単位、4 回目で 1192.7 単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が高かった。

また、全体の傾向と同様に予防有用型の平均値は、初回から 2 回目にかけて増加していたが、3 回目はこの増加はわずかであった。3 回目から 4 回目の増加は、大きかった。

#### (10) 用具貸与(特殊寝台)

全体の傾向としては、用具貸与(特殊寝台)の 1 人当たりの平均値は初回で 1408.1 単位、2 回目で 1451.6 単位、3 回目で 1438.9 単位、4 回目で 1445.9 単位となっていた。

一方、初回認定から 4 回目の認定までの結果がすべて予防有用型に該当した集団では、用具貸与(特殊寝台)の 1 人当たりの平均値は初回で 1409.2 単位、2 回目で 1446.1 単位、3 回目で 1434.9 単位、4 回目で 1437.0 単位となっていた。

平均値は初回以外は、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。しかし、各平均値の差は 10 単位未満の差であり、利用料にほとんど差がないことがわかった。

#### (11) 用具貸与(その他)

全体の傾向としては、用具貸与(その他)の 1 人当たりの平均値は初回で 458.8 単位、2 回目で 499.2 単位、3 回目で 487.6 単位、4 回目で 529.0 単位となっていた。

予防有用型に該当した集団では、用具貸与(その他)の 1 人当たりの平均値は初回で 407.2 単位、2 回目で 467.0 単位、3 回目で 427.4 単位、4 回目で 442.4 単位となっていた。

どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、予防有用型の平均値は 2 回目の値が最も高かった。

#### (12) 短期生活

全体の傾向としては、短期生活の 1 人当たりの平均値は初回で 7576.9 単位、2 回目で 7744.1 単位、3 回目で 8829.5 単位、4 回目で 9972.7 単位となっていた。

予防有用型では、短期生活の 1 人当たりの平均値は初回で 7293.0 単位、2 回目で 6420.7 単位、3 回目で 6950.3 単位、4 回目で 7150.0 単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から 4 回目に増加しているが、予防有用型では、2 回目に減少し、その後増加していたが全体に比較すると利用単位は少なかった。

#### (13) 短期保健

全体の傾向としては、短期保健の 1 人当たりの平均値は初回で 6463.9 単位、2 回目で 6467.4 単位、3 回目で 8148.4 単位、4 回目で 8888.0 単位となっていた。

予防有用型では、短期保健の 1 人当たりの平均値は初回で 5908.4 単位、2 回目で 6295.8 単位、3 回目で 7648.6 単位、4 回目で 7239.8 単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から 4 回目に増加しているが、予防有用型では、3 回目まで増加し、4 回目に減少していた。



#### (14) 短期医療

全体の傾向としては、短期医療の 1 人当たりの平均値は初回で 6267.2 単位、2 回目で 6827.0 単位、3 回目で 9054.3 単位、4 回目で 11071.8 単位となっていた。

予防有用型では、短期医療の 1 人当たりの平均値は初回で 3477.3 単位、2 回目で 5913.4 単位、3 回目で 9964.6 単位、4 回目で 8933.5 単位となっていた。

3 回目以外はどの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から 4 回目に増加しているが、予防有用型では、3 回目まで増加し、4 回目に減少していた。

#### (15) 療養管理（医師・歯科医師）

全体の傾向としては、療養管理（医師・歯科医師）の 1 人当たりの平均値は初回で 746.9 単位、2 回目で 757.8 単位、3 回目で 749.0 単位、4 回目で 766.6 単位となっており、漸次、増加していた。

予防有用型では、療養管理（医師・歯科医師）の 1 人当たりの平均値は初回で 739.5 単位、2 回目で 761.3 単位、3 回目で 757.4 単位、4 回目で 757.0 単位となっていた。平均値は 2 回目と 3 回目以外は、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から 4 回目に増加しているが、予防有用型では、3 回目まで増加し、その後減少していることがわかった。ただし、各平均値の差は 10 単位未満であり、僅かであった。

#### (16) 療養管理(その他)

全体の傾向としては、療養管理(その他)の 1 人当たりの平均値は初回で 964.1 単位、2 回目で 988.4 単位、3 回目で 1029.5 単位、4 回目で 1030.5 単位となっていた。

予防有用型では、療養管理(その他)の 1 人当たりの平均値は初回で 960.5 単位、2 回目で 998.3 単位、3 回目で 1037.9 単位、4 回目で 1021.1 単位となっていた。平均値は 2 回目と 3 回目以外は、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から 4 回目に増加していたが予防有用型では 3 回目まで増加し、その後減少していた。しかし、各平均値の差は 10 単位未満の差で僅かであった。

#### (17) 認知症対応

全体の傾向としては、認知症対応の 1 人当たりの平均値は初回で 21700.2 単位、2 回目で 23085.1 単位、3 回目で 23617.4 単位、4 回目で 24353.4 単位となっていた。

予防有用型では、認知症対応の 1 人当たりの平均値は初回で 19056.8 単位、2 回目で 21575.3 単位、3 回目で 22825.1 単位、4 回目で 23073.7 単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値は低かった。

また、全体の傾向と同様に予防有用型の平均値は初回から 4 回目にかけて増加していた。

#### (18) 特定施設

全体の傾向としては、特定施設の1人当たりの平均値は初回で15119.0単位、2回目で15424.3単位、3回目で15900.6単位、4回目で16896.5単位となっていた。

予防有用型では、特定施設の1人当たりの平均値は初回で12479.6単位、2回目で14678.3単位、3回目で14517.6単位、4回目で15366.2単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値は低かった。また、全体の傾向は初回から4回目に増加しているが、予防有用型では、2回目から3回目で減少し、その後増加していた。

#### (19) 福祉施設

全体の傾向としては、福祉施設の1人当たりの平均値は初回で24366.6単位、2回目で25257.3単位、3回目で25573.4単位、4回目で26259.1単位となっていた。

予防有用型では、福祉施設の1人当たりの平均値は初回で23852.7単位、2回目で24709.1単位、3回目で24076.9単位、4回目で24695.4単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から4回目に増加していたが、予防有用型では、初回から2回目に増加し、3回目に減少、その後、増加していた。

#### (20) 保健施設

全体の傾向としては、保健施設の1人当たりの平均値は初回で23621.0単位、2回目で26398.7単位、3回目で26773.8単位、4回目で28135.8単位となっていた。

予防有用型では、保健施設の1人当たりの平均値は初回で22702.9単位、2回目で25029.5単位、3回目で24843.0単位、4回目で25774.4単位となっていた。保健施設も福祉施設同様、どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から4回目に増加しているが、予防有用型では、初回から2回目に増加し、3回目には減少し、4回目に増加していた。

#### (21) 療養施設

全体の傾向としては、療養施設の1人当たりの平均値は初回で31048.8単位、2回目で32943.2単位、3回目で32603.7単位、4回目で34659.6単位となっていた。

予防有用型では、療養施設の1人当たりの平均値は初回で29223.4単位、2回目で32843.1単位、3回目で30746.4単位、4回目で31676.2単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から4回目に増加していたが、予防有用型では、初回から2回目に増加し、3回目に減少し、4回目に増加していた。

### 3.介護サービス利用単位の認定時の比較

介護サービス利用単位について、初回と2回目、3回目、4回目の変化について分析した。この分析に際して、それぞれの利用料に関して対応のある T 検定を用い、初回の単位数とそれぞれの回の単位数を比較した。

この分析の結果、全対象におけるサービス利用状況は、初回と2回目においては「短期保健」、「短期医療」、「特定施設」以外のサービス料においては、単位数の平均値に統計的に有意な差が示され、ほとんどのサービスが増加していた。また、初回と3回目、初回と4回目では全てのサービスで単位数の平均値に統計的に有意な差が示された。

一方、予防有用型のサービス利用状況については、初回と2回目においては、「訪問入浴」、「短期生活」、「短期保健」、「短期医療」、「療養管理(その他)」、「認知症対応」、「特定施設」以外のサービスにおいては単位数の平均値に統計的に有意な差が示された。

また、初回と3回目では、「訪問入浴」、「短期生活」、「短期保健」、「短期医療」、「療養管理(その他)」、「療養施設」の6つのサービス以外の全てのサービスで単位数の平均値に統計的に有意な差が示された。

初回と4回目では、「訪問入浴」、「短期医療」、「療養管理(その他)」、「療養施設」の4つのサービス以外の全てのサービスで単位数の平均値に統計的に有意な差が示された。なお、「訪問入浴」、「短期医療」、「療養管理(その他)」は4回において、単位数の平均値に統計的に有意な差が示されなかった。

表 197 全体のサービス種別利用単位の認定時の変動 (N=16,156 )

	初回⇔2回目	初回⇔3回目	初回⇔4回目
	P	P	P
訪問介護(身体)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
訪問介護(身体・家事)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
訪問介護(家事)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
訪問入浴	0.00 **	0.00 **	0.00 **
訪問看護	0.00 **	0.00 **	0.00 **
訪問リハ	0.00 **	0.00 **	0.00 **
通所介護	0.00 **	0.00 **	0.00 **
通所リハ	0.00 **	0.00 **	0.00 **
用具貸与(車いす)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
用具貸与(特殊寝台)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
用具貸与(その他)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
短期生活	0.00 **	0.00 **	0.00 **

短期保健	0.19	0.00 **	0.00 **
短期医療	0.31	0.00 **	0.01 **
療養管理(医師・歯科医師)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
療養管理(その他)	0.01 *	0.00 **	0.00 **
認知症対応	0.00 **	0.00 **	0.00 **
特定施設	0.12	0.00 **	0.00 **
福祉施設	0.00 **	0.00 **	0.00 **
保健施設	0.00 **	0.00 **	0.00 **
療養施設	0.00 **	0.00 **	0.00 **

\* p < .05 \*\* p < .01

表 198 予防有用型におけるサービス種別利用単位の経年的変化 (N=6,597)

	初回⇔2回目	初回⇔3回目	初回⇔4回目
	P	P	P
訪問介護(身体)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
訪問介護(身体・家事)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
訪問介護(家事)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
訪問入浴	0.18	0.18	0.10
訪問看護	0.00 **	0.00 **	0.00 **
訪問リハ	0.00 **	0.01 *	0.05
通所介護	0.00 **	0.00 **	0.00 **
通所リハ	0.00 **	0.00 **	0.00 **
用具貸与(車いす)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
用具貸与(特殊寝台)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
用具貸与(その他)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
短期生活	0.99	0.07	0.00 **
短期保健	0.38	0.06	0.08 **
短期医療	0.41	0.06	0.11
療養管理(医師・歯科医師)	0.01 *	0.00 **	0.00 **
療養管理(その他)	0.53	0.52	0.19
認知症対応	0.06	0.00 **	0.00 **
特定施設	0.14	0.01 *	0.00 **
福祉施設	0.00 **	0.00 **	0.00 **
保健施設	0.00 **	0.00 **	0.00 **
療養施設	0.04 *	0.23	0.87

\* p < .05 \*\* p < .01

第11章 全対象者の介護サービスの組み合わせ状況の経年的推移

1. 認定時点別サービス提供の組み合わせ数とその人数の推移

初回から4回目のそれぞれの認定時のサービス提供の組み合わせ数について調べた結果、どの認定時においてもサービスを利用していないものがいた。初回は、16.5%と最も高く、2回目は、10.1%、3回目は7.7%と減少していたが、4回目に再び13.0%と増加していた。

介護サービスの組み合わせに関しては、1種類のサービスのみを利用している高齢者が最も多かった。この1種類のみ利用割合は、初回は、59.8%、2回目は、60.1%と増加していた。3回目は、58.8%と減少し、4回目は、51.4%とさらに減少していた。

2種類利用は、初回阿賀16.0%、2回目は18.5%、3回目は、19.5%と増加していたが、4回目は、19.4%とわずかに低くなっていた。3種類利用は、初回4.9%、2回7%、3回8.3%、4回9.0%と漸次、増加していた。4種類以上組み合わせたサービスを使っている要介護高齢者は、増加しているものの、どの認定時においても10%未満であり、初回では459名(2.8%)、2回目では703名(4.4%)、3回目では916名(5.7%)、4回目では1,181名(7.3%)と低い割合であった。

表 199 認定時別サービス種類と利用者数

	初回		2回目		3回目		4回目	
	N	%	N	%	N	%	N	%
サービス利用なし	2,667	16.5	1,631	10.1	1,252	7.7	2,094	13.0
1種類利用	9,659	59.8	9,709	60.1	9,497	58.8	8,304	51.4
2種類利用	2,586	16.0	2,986	18.5	3,150	19.5	3,131	19.4
3種類利用	785	4.9	1,127	7.0	1,341	8.3	1,446	9.0
4種類利用	300	1.9	449	2.8	553	3.4	676	4.2
5種類利用	117	0.7	178	1.1	247	1.5	327	2.0
6種類利用	31	0.2	59	0.4	79	0.5	128	0.8
7種類利用	7	0.0	11	0.1	24	0.1	44	0.3
8種類利用	3	0.0	5	0.0	12	0.1	5	0.0
9種類利用	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0
計	16,156	100	16,156	100	16,156	100	16,156	100

## 2.認定時点別のサービス提供の組み合わせ内容

### (1) 全体としてのサービス組み合わせ数とその利用人数

初回から4回目のそれぞれの認定時のサービス提供の組み合わせ内容について調べた結果、初回では、介護サービスの組み合わせ数は、633種類あった。このうち、最も多かったサービスは、単一の「通介」で、3,213名(19.9%)が利用していた。

### (2) 初回におけるサービス組み合わせの内容

また、初回に利用したサービスを種類数別にその内容をみてみると、1種類利用の場合、その利用パターンは21パターンあり最も多いものは「通介」で3,213名(19.9%)であった。次に「通り」1,514名(9.4%)、「家事」1,070名(6.6%)、「保施」958名(5.9%)「福施」494名(3.1%)と続いていた。

2種類利用の場合、その利用パターンは120パターンあり、最も多いものは「家事\_通介」で226名(1.4%)であった。次に「身体\_家事」176名(1.1%)、「通介\_寝台」161名(1.0%)「通介\_短福」152名(0.9%)と通所介護との併用を行っているサービスが上位に続いた。

3種類利用の場合、その利用パターンは189パターンあり、最も多いものは「身体\_身家\_家事」で41名(0.25%)であった。次に、「身体\_家事\_通介」で40名(0.25%)、「通介\_寝台\_他貸」で29名(0.18%)、「通り\_いす\_寝台」で23名(0.14%)、「身家\_家事\_通介」で22名(0.14%)と続いていた。

4種類利用の場合、その利用パターンは166パターンあり、最も多いものは「身体\_身家\_家事\_通介」で14名(0.09%)であった。次に、「通介\_いす\_寝台\_他貸」で10名(0.06%)、「身体\_通介\_いす\_寝台」で9名(0.06%)、「通り\_いす\_寝台\_他貸」で8名(0.05%)、「身体\_通り\_いす\_寝台」で6名(0.04%)と続いていた。

5種類利用の場合、その利用パターンは97パターンあり、最も多いものは「身体\_通り\_いす\_寝台\_他貸」で6名(0.04%)であった。次に「身体\_通介\_いす\_寝台\_他貸」で4名(0.02%)、「身体\_身家\_家事\_看護\_通介」で3名(0.02%)、「身体\_入浴\_いす\_寝台\_他貸」で3名(0.02%)と続いた。

6種類利用の場合、その利用パターンは29パターンあり、「身体\_看護\_通り\_いす\_寝台\_指医」2名(0.01%)、「身体\_通介\_いす\_寝台\_他貸\_短福」2名(0.01%)以外は全て1人の利用であった。

7種類利用の場合、その利用パターンは7パターンで全て1人の利用であった。8種類利用の場合、その利用パターンは3パターンで全て1人の利用であった。9種類利用の場合、その利用パターンは1パターンで1人の利用であった。

表 200 1 種類利用のサービス内容 (初回)

	N	全体の%
1 通介	3213	19.9
2 通り	1514	9.4
3 家事	1070	6.6
4 保施	958	5.9
5 福施	494	3.1
6 寝台	469	2.9
7 身体	437	2.7
8 医施	262	1.6
9 身家	229	1.4
10 いす	227	1.4
11 短福	204	1.3
12 看護	180	1.1
13 他貸	126	0.8
14 入浴	57	0.4
15 短保	55	0.3
16 認知	55	0.3
17 指医	54	0.3
18 特定	26	0.2
19 訪リ	13	0.1
20 指他	9	0.1
21 短医	7	0.0



表 201 2種類利用のサービス内容（初回）

	N	全体の%		N	全体の%
1 家事_通介	226	1.4	61 看護_短福	4	0.02
2 身体家事	176	1.1	62 看護_訪り	4	0.02
3 通介_寝台	161	1.0	63 身家_指医	4	0.02
4 通介_短福	152	0.9	64 通介_福施	4	0.02
5 通介_通り	127	0.8	65 入浴_看護	4	0.02
6 身体通介	122	0.8	66 訪り_指医	4	0.02
7 身家_家事	99	0.6	67 訪り_通介	4	0.02
8 通り_寝台	98	0.6	68 家事_入浴	3	0.02
9 身体身家	86	0.5	69 家事_訪り	3	0.02
10 家事_通り	81	0.5	70 看護_指他	3	0.02

表 202 3種類利用のサービス内容（初回）

	N	全体の%		N	全体の%
1 身体_身家_家事	41	0.25	96 身体_通り_他貸	2	0.01
2 身体_家事_通介	40	0.25	97 身体_通介_指医	2	0.01
3 通介_寝台_他貸	29	0.18	98 通り_いす_短福	2	0.01
4 通り_いす_寝台	23	0.14	99 通り_短福_短保	2	0.01
5 身家_家事_通介	22	0.14	100 通介_指医_指他	2	0.01
6 通介_いす_寝台	21	0.13	101 通介_短福_保施	2	0.01
7 身体_寝台_他貸	18	0.11	102 通介_通り_いす	2	0.01
8 身体_身家_通介	17	0.11	103 通介_通り_他貸	2	0.01
9 通り_寝台_他貸	17	0.11	104 入浴_看護_いす	2	0.01
10 身家_家事_通り	14	0.09	105 入浴_看護_寝台	2	0.01

表 203 4種類利用のサービス内容（初回）

	N	全体の%		N	全体の%
1 身体_身家_家事_通介	14	0.09	84 看護_通介_通り_指他	1	0.01
2 通介_いす_寝台_他貸	10	0.06	85 看護_訪り_いす_寝台	1	0.01
3 身体_通介_いす_寝台	9	0.06	86 看護_訪り_寝台_他貸	1	0.01
4 通り_いす_寝台_他貸	8	0.05	87 看護_訪り_通り_寝台	1	0.01
5 身体_通り_いす_寝台	6	0.04	88 看護_訪り_通り_短保	1	0.01
6 身体_看護_通介_寝台	5	0.03	89 看護_訪り_通介_他貸	1	0.01
7 身体_身家_家事_寝台	5	0.03	90 身家_いす_寝台_他貸	1	0.01
8 通介_通り_いす_寝台	5	0.03	91 身家_家事_いす_指医	1	0.01
9 看護_通介_寝台_指医	4	0.02	92 身家_家事_いす_寝台	1	0.01
10 身体_家事_寝台_他貸	4	0.02	93 身家_家事_看護_いす	1	0.01

表 204 5種類利用のサービス内容（初回）

	N	全体の%		N	全体の%
1 身体_通り_いす_寝台_他貸	6	0.04	50 身体_家事_いす_寝台_他貸	1	0.01
2 身体_通介_いす_寝台_他貸	4	0.02	51 身体_家事_通介_通り_いす	1	0.01

3	身体_身家_家事_看護_通介	3	0.02	52	身体_家事_通介_通り_他貸	1	0.01
4	身体_入浴_いす_寝台_他貸	3	0.02	53	身体_看護_いす_寝台_他貸	1	0.01
5	看護_いす_寝台_他貸_指医	2	0.01	54	身体_看護_いす_他貸_指医	1	0.01
6	看護_通り_いす_寝台_他貸	2	0.01	55	身体_看護_寝台_指医_指他	1	0.01
7	身体_看護_寝台_他貸_指医	2	0.01	56	身体_看護_他貸_短医_指医	1	0.01
8	身体_看護_通り_いす_寝台	2	0.01	57	身体_看護_通り_いす_指医	1	0.01
9	身体_身家_通介_いす_寝台	2	0.01	58	身体_看護_通り_いす_他貸	1	0.01
10	身体_通介_寝台_他貸_指医	2	0.01	59	身体_看護_通り_寝台_短保	1	0.01

表 205 6種類利用のサービス内容（初回）

	N	全体の%
1 身体_看護_通り_いす_寝台_指医	2	0.01
2 身体_通介_いす_寝台_他貸_短福	2	0.01
3 家事_通り_寝台_他貸_短福_短保	1	0.01
4 家事_入浴_看護_寝台_指医_指他	1	0.01
5 看護_通介_いす_寝台_指医_指他	1	0.01
6 看護_通介_通り_いす_寝台_短福	1	0.01
7 看護_訪リ_通り_いす_寝台_指医	1	0.01
8 身家_家事_看護_通り_指医_指他	1	0.01
9 身家_看護_通介_いす_寝台_指医	1	0.01
10 身家_看護_訪リ_いす_寝台_指医	1	0.01

表 206 7種類利用のサービス内容（初回）

	N	全体の%
1 看護_訪リ_通り_いす_寝台_短医_指医	1	0.01
2 看護_訪リ_通介_いす_寝台_他貸_指医	1	0.01
3 身家_看護_通介_通り_いす_寝台_他貸	1	0.01
4 身家_入浴_看護_訪リ_いす_寝台_他貸	1	0.01
5 身体_看護_通り_いす_寝台_他貸_短福	1	0.01
6 身体_看護_通介_いす_寝台_他貸_短福	1	0.01
7 身体_身家_看護_通介_寝台_指医_指他	1	0.01

表 207 8種類利用のサービス内容（初回）

	N	全体の%
1 身体_看護_訪リ_通介_いす_寝台_他貸_短福	1	0.01
2 身体_身家_家事_看護_いす_寝台_他貸_指他	1	0.01
3 身体_身家_入浴_看護_いす_寝台_他貸_短保	1	0.01

表 208 9種類利用のサービス内容（初回）

	N	全体の%
1 身体_看護_訪リ_通介_いす_寝台_他貸_短福_指医	1	0.01

表 209 認定を受けた高齢者の介護サービスの組み合わせ（初回）\_0.1%以上

サービス組み合わせ(初回)	種類数	N	%	累積%
1 通介	1	3213	19.9	19.9
2 サービス利用なし	0	2667	16.5	36.4
3 通り	1	1514	9.4	45.8
4 家事	1	1070	6.6	52.4
5 保施	1	958	5.9	58.3
6 福施	1	494	3.1	61.4

7	寝台	1	469	2.9	64.3
8	身体	1	437	2.7	67.0
9	医施	1	262	1.6	68.6
10	身家	1	229	1.4	70.0